

琉球病院 Monthly



独立行政法人
国立病院機構 琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.48
2016. December

発行者 琉球病院事務部長
有岡 雅之

基本理念

この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

国立病院機構理事長 病院視察

11月9日、国立病院機構の楠岡 英雄理事長が病院視察で来院されました。

今般、沖縄において開催された第70回国立病院総合医学会への出席のため来沖され、当院にも足を運んでいただき、福治院長からのクロザピン治療への取組等の説明を受け、熱心に耳を傾けられておりました。



総合医学会ベストポスター賞を受賞して

療育指導室長 金城 安樹



11月11日(金)～12日(土)、第70回国立病院総合医学会が沖縄コンベンションセンターを中心に開催されました。私はポスター部門で発達障害児者在宅支援をテーマに発表させて頂き、ベストポスター賞を頂く事ができました。

今年5月発達障害者支援法が改正され、3つのポイントがあげられています。

①ライフステージを通じた切れ目のない支援②家族等も含めたきめ細かな支援③地域の身近な場所で受けられる支援です。当院では在宅や施設において行動障害が強く対応が困難となり受診に至るケースが多くみられます。ニーズに応じた支援を行う事により在宅・地域支援として一定の成果が得られています。発達障害児者が地域において快適に生活ができる為に、ご本人、ご家族への支援及び、関係機関との連携が更に重要となってきています。

全国から約5700人超えの参加があった沖縄県での総合医学会。開催地として県内の国立病院機構、国立療養所の職員が協力し成功をおさめる事ができました。「ちむぐる」の精神で美ら島沖縄の国立病院総合医学会にカーリー！

第70回国立病院総合医学会にシンポジストとして参加して

地域医療連携室師長 照屋 初枝

「精神障害者の地域移行支援の現状と課題」をテーマにシンポジウムがありました。私は、シンポジストとして参加しましたので、少しご紹介させていただきます。座長は肥前精神医療センターの杢院長、当院の福治院長に進行をして頂きました。私を含め、4名の方が発表を行い、国の動向、NHO機構病院でグループホームを立ち上げた経過や運営状況、地域活動支援センター(ウエーブ)の安村氏からは、地域で支援している方の地域定着支援の事例、私は「院内連携から、退院後の地域連携や定着を推進してきた経過」について発表を行いました。国の動向は、在院日数の短縮、急性期医療に診療報酬を厚くする、長期入院患者の退院促進を推進する。退院後は、訪問看護を活用し、地域との包括的な連携を図っていくことが望まれている。長期の入院患者は本人や家族が退院へ消極的になることは周知の事実ですが、医療者はあきらめず、継続した関わりをもち、地域移行をすること。長期入院を余儀なくされ、社会生活上でのギャップは患者の問題ではなく、入院生活で失われた障害は、医療者が意図したものではないが、作り上げてきた歴史でもあります。「地域で当たり前」に生活することの楽しさを感じてもらおう」ことを目標に、中間施設の活用、地域との連携で居住地の実態に合わせた包括的な支援等、多種多様な取り組みを継続することの大切さを学んできました。

それぞれの専門職による活発なディスカッションができ、とても意義のあるシンポジウムでありました。



院長

福治康秀(ふくじ やすひで)

1964年生まれ、那覇市出身、首里高校卒。

1993年琉球大学医学部卒、

琉球大学医学部精神神経科入局。

95年那覇市立病院精神科、96年

琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、

2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。

日本病院・地域精神医学会理事。



診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・物忘れ外来
- ・アルコール依存症等外来

病床数 406床

- ・精神科病棟 181床
- ・認知症 50床
- ・アルコール 54床
- ・児童思春期 ユニット 4床
- ・重症心身 障がい 80床
- ・医療観察法 37床



那覇市からのアクセス



アクセス

路線バス/那覇BS(下)または名護BS(上)より沖縄バス
[77番名護東線]浜田バス下車徒歩3分
自動車/那覇市から40分
沖縄自動車道金武インターから名護向15分

トピックス

教育・研修

- 金武町福祉祭り 日時：平成28年12月4日(日)9:00～16:00
場所：町立中央公民館
血圧測定・骨密度測定・健康相談・栄養相談など
- ダンスパーティー 日時：平成28年12月8日(木)14:00～15:30
場所：琉球病院あしびなあ体育館

●地域医療連携室だより

地域医療連携室では常日頃受診相談を受けておりますが、最近では発達障害に関する受診や相談が増えており、特に成人の発達障害の相談が増えています。外来の新規受診希望も増えているため受診までお待たせしてしまいご迷惑をおかけしておりますが、他職種でよりよい支援が行えるように今後も努めていきたいと思っております。受診の件でお困りのことがありましたら地域医療連携室までご連絡下さい。



空床状況
11月28日現在

精神科病棟
3床

認知症
2床

アルコール
1床

児童思春期ユニット
1床

※入院予約に関するお問い合わせは地域医療連携室へご相談下さい。

お問い合わせ時間

8:30～17:15 (土・日・祝日以外)

TEL: 098-968-2133 (代)

内線: 231・234

地域医療連携室(直通)

TEL: 098-968-3550

FAX: 098-968-7370

治療抵抗性精神疾患への医療



クロザピンの治療状況

平成22年に治療抵抗性統合失調症の患者様に対してクロザピン(CLZ)治療を開始し、全症例は187例になりました。平成28年10月のCLZ導入は6例でした。そのうち3例は他の施設からご紹介をいただいた患者様でした。CLZ治療前には暴力行為や多飲水などの問題行動のために隔離が必要な患者様も多くいらっしゃいましたが、CLZ継続例では問題行動も少なくなり、隔離は解除できています。週に3回の専門外来も行っていますので、患者様のご紹介をお願いいたします。

m-ECT (修正型電気けいれん療法) の治療状況

当院では、m-ECT (修正型電気けいれん療法) による治療を行っております。平成28年10月の治療実績はありませんでした。

こども心療科

10月31日はハロウィンでした。こども心療科に入院している子どもたちと一緒に医師、看護師、心理士、PSWの各職種も仮装しました。参加した子どもたちは化粧をしたり、顔にペイントするのが初めてということや緊張した様子でしたが、衣装に着替え、出来上がった顔を見とどの子どもとも満足気でした。その後、「Trick or Treat?!」と言いながら各部署をまわりました。この日のために各部署は毎年お菓子を用意してくれており、両手いっぱいお菓子をもらい、とても喜んでいました。病棟スタッフ以外とのやりとりは初めてということもあり、始めのうちは小さな声で話していた子が部署をまわっていくにつれ、大きな声でやりとりができるようになり、人見知りな子ども自ら声をかける様子もみられました。季節ごとの行事や院内の色々なスタッフとの交流は子どもたちの成長を感じさせてくれます。これからも四季折々の行事を取り入れていく予定です。

認知症医療

認知症と食事の事について考えてみます。

最近、「認知症の予防」「認知機能の改善」に効果があると表示されたサプリメントの広告を目にします。根拠となる論文を見ると、認知機能に影響する栄養素があることは明らかにされています。しかし、サプリメントという形で摂取して認知機能が改善するという論文は見当たりません。現在のところ認知機能に有効な栄養素は、一般の食物として摂取しなければ効果はないようです。

現代人に不足している栄養素は何かといえば、まず脂肪があげられます。油を使わない調理具や調理方法が人気上昇中の時代に、なぜ「油」と思われる方が多いかもしれません。今、「油」が嫌われる理由は、ダイエットのためです。標準体重をオーバーし贅肉がつくことを心配し、体に脂肪がつかない様にカロリーの高い「油」を敬遠しているのです。しかし体につく脂肪は、糖質で摂取しても体に必要なカロリー以上のエネルギーは脂質に姿を変えて蓄えられます。ダイエットのためには、「油」だけにこだわるのではなく、1日に摂取する食事量、カロリー量に気を配る必要があります。特にダイエットだけでなく「美しさ」も求めるのであれば栄養素のバランス、特に微量元素が大切になります。リンが不足すれば骨が脆くなるだけでなく、細胞の再生に必要な核酸が出来なくなりますし、亜鉛が不足すればお肌の艶がなくなります。

認知症と食事の話に戻ると、脳の主要な部分は脂肪で出来ています。教科書を見ると認知症となった脳の変化は「神経原線維変化や老人斑の出現によって、神経細胞の萎縮と脱落が生じ脳組織は萎縮する」と述べています。この時、萎縮し脱落して失われていく部分はほとんど脂肪で出来ています。ですから脳細胞の健康を維持するためには脂肪が必要です。脳も海馬の部分は脳細胞が毎日新しく作られています。この新しい脳細胞を作るためにも十分な脂肪が必要です。むやみに脂肪を抑制した食事を続けていると、カロリーの摂りすぎで体がブクブク肥りながら脳細胞は痩せ細り、枯れていく事にもなりかねません。

では脳に必要な脂肪をどのように摂取したらよいか。サプリメントという形ではなく自然な食物として摂取することが大切です。そして、青身の魚や植物性の油脂が豊富な食物が良いと言われています。しかし、色々な研究結果を見ると食べるだけでは効果は少ないようです。脳を刺激する運動と脳に必要な栄養素をセットで必要とします。栄養素だけあっても脳を新しく組み立てる刺激がないと脳細胞は新生しないし、刺激だけあっても脳細胞を作る材料がなければ脳細胞の新生は望めません。脳に良い食事、運動、刺激については「もの忘れ予防教室」で取り組んでいることです。また、毎月第4木曜日に行っている「家族教室」でも勉強会を行っています。興味のある方は、地域医療連携室へお問い合わせください。

重症心身障がい医療

今回は動く重症心身障害者の療養介護認定の問題についてご紹介します。当院は療養介護及び医療型障害児入所支援を行っており、20歳以上の利用者は療養介護における入院となります。しかし、療養介護の認定として重症心身障害(重度精神遅滞及び重度肢体不自由の重複)であり、障害支援区分5または6であるという要件があります。障害者自立支援法(現障害者総合支援法)に基づき、平成24年4月以降、療養介護の要件からはずれてしまう方は入所希望があっても「法的根拠」がない為に市町村から受給決定がされない不安定な状況にあります。しかしながら、ご家庭や施設において、著しく行動障害がみられる場合はその方の受け皿が必要となります。利用者の福祉、療育が損なわれないよう法的整備が求められており、行動障害改善後は地域移行が課題となっています。

アルコール・薬物依存医療

平成25年5月27日、アルコール依存症の新しい治療薬「レグテクト」が発売となりました。レグテクトは、アルコール依存症の方の強い「飲酒欲求」を直接和らげてくれる作用があります。当院では10月現在、外来通院の患者様72名、入院中の患者様32名の方が服用されています。内服している方は「飲酒欲求が軽減した」と話され、再飲酒の抑制につながっています。また、当院の外来での調査では、レグテクト内服を継続している患者様の方が、治療継続率が高いという結果も出ております。患者様へは、適宜導入を勧めています。断酒が困難な方は、ぜひ外来を受診相談して下さい。

包括的地域精神医療 (ACT)

年末を向かえ、新しい年を迎える準備があわただしくなります。沖縄の気候は暖かく、寒さを感じることはありませんが、冬に向かい体調管理にも気をつける時期でもあります。当院では、10月ごろより、インフルエンザが流行しました。この時期は、風邪とインフルエンザが同時になります。訪問看護を利用している対象者の方には人混みの多い場所への外出にはマスクの着用を勧めています。体調をくずして、病状が悪くなる方もいらっしゃいますので、体調管理にご注意ください。

訪問看護は12月28日まで活動を行います。年末・年始の過ごし方を訪問看護のスタッフと相談しながら体調管理を行い、良い正月を迎えることができ、来年の訪問時には、新年の抱負を教えてください。

臨床研究部活動状況

『クロザピン使用症例における重症患者の調査研究』 分担研究者 村上優 研究協力者 医師 木田直也

琉球病院で2010年から2015年9月1日までにクロザピン(CLZ)治療を行った148症例について、CLZの有効性、「重度かつ慢性」基準案の当てはまりとその推移を検討した。148例中109例はCLZ治療を継続しており、そのうち76例は退院した。当院に入院もしくは通院中に経過を観察できた120例を対象に解析を行った。2014年1月に以降にCLZ治療を開始した症例についての前向き調査では44例(CLZ継続37例、CLZ中止7例)が対象となった。2013年12月までにCLZ治療を開始した症例(CLZ治療期間が1年以上)についての定点調査では76例(CLZ継続62例、CLZ中止14例)が対象となった。前向き調査群ではCLZ治療を継続することで、精神症状、生活障害、行動障害が著明に改善し、身体合併症の中毒や多飲水も改善し、退院例も増えていた。CLZ治療開始時には96%の割合の症例が「重度かつ慢性」基準案を満たしていたが、CLZ治療開始6ヶ月後、12ヶ月後にはその割合は17%となり、79ポイントも減少した。定点調査群では1年以上経過してもCLZ治療継続例では基準案を満たす割合は8~12%と低い状態が続き、CLZの効果は一時的なものではなかった。中止群を見ると、CLZ中止後に症状が悪化し、基準案を満たす割合も次第に増加した。このことから、精神・生活・行動面での良好な機能を維持するためにCLZ治療を継続していくことが必要と考える。

平成27年度厚生労働科学研究「精神障害者の重症度判定及び重症患者の治療体制等に関する研究」統括研究報告書 研究要旨より一部抜粋